



環境経営レポート

2022年度

(対象期間：2022年5月 ～ 2023年4月)



発行日：2023年7月21日



株式会社 創建

目次

1. 組織の概要	p. 3
2. 認証・登録の対象範囲	p. 3
3. 環境経営方針	p. 4
4. 実施体制	p. 5
5. 環境経営目標	p. 6
6. 環境経営計画	p. 7
7. 環境経営目標の実績	p. 9
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	p. 10
9. 環境経営活動の内容と実績	p. 11
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	p. 14
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	p. 14

1. 組織の概要

- 1) 事業所名
代表者氏名



株式会社 創建

代表取締役社長 村上 伸

- 2) 所在地

本社・倉庫 〒847-0074
佐賀県唐津市和多田先石6番38号

指定管理部唐津市事務所 〒847-8511
佐賀県唐津市西城内1番1号

指定管理部相知事務所 〒849-3201
佐賀県唐津市相知町相知2055番地1

- 3) 環境管理責任者
担当者
連絡先

代表取締役社長 村上 伸
営業部 山下 則子

TEL : 0955-74-5118 FAX : 0955-74-5113
Email : soumu@k-souken.co.jp

- 4) 事業の内容

総合建設業
指定管理施設の運営

- 5) 事業の規模

総売上額：1,036百万円（うちJV分は430百万円を含む）※税込

	単位	本社	倉庫	指定管理部 唐津市事務所	指定管理部 相知事務所
従業員数	人	27	-	5	3
延床面積	m ²	435.7m ²	362.9m ²	唐津市庁舎内	相知市民 センター内

- 6) 事業年度

5月から翌年4月まで

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所

本社・倉庫、指定管理部（唐津市事務所・相知事務所）

- 2) 事業活動

土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工・コンクリート工事業、
石工事業、屋根工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、
塗装工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、水道施設工事業、
解体工事業、指定管理事業

上記の全組織・全活動

3. 環 境 経 営 方 針

株式会社 創建は、建設工事を通じて地域の安全・安心及び生活環境の改善と維持に貢献するとともに、次世代のために、地域のみならず広く地球環境の保全と地球温暖化防止に役立つよう事業活動を継続していきます。

1. 次の項目を重点項目として取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 地域環境貢献活動を推進します。
 - (5) 施工現場における環境に配慮した機械の使用と工法に取り組みます。
2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善に努めます。

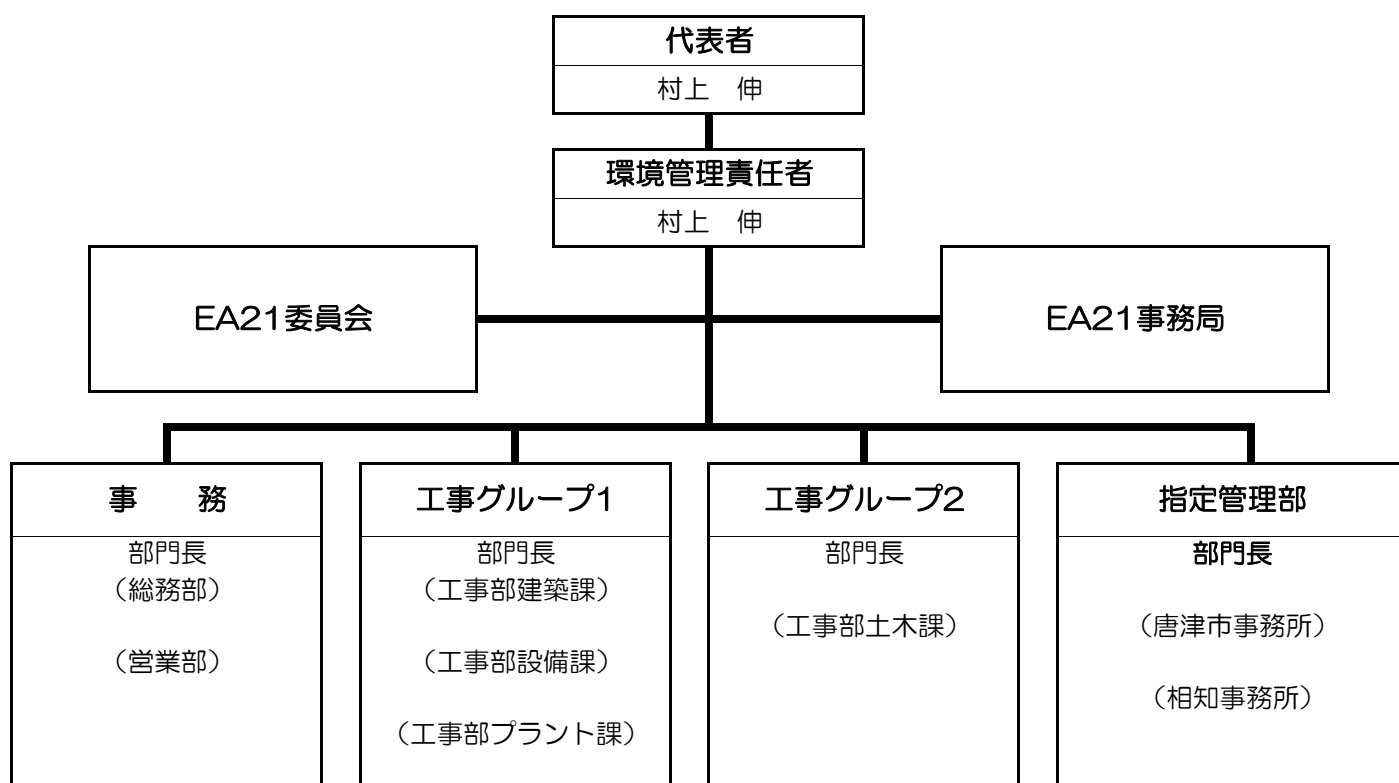
制定日 2017年11月24日

改定日 2022年4月1日



代表取締役社長 村上 伸

4.実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 ◎ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 ◎ 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 ◎ 環境への取組みを実施するための資源（人・もの・金）を準備する。 ◎ EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ◎ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境経営実績を向上させる。 ◎ 毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ◎ 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 3ヶ月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 環境管理責任者を補佐し、EA21文書・記録類及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ◎ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を部門全員に周知する。 ◎ 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営を推進する。 ◎ 自部門で発生した問題点の是正処置・予防処置を実施する。 ◎ 自部門に関する法規制等を遵守する。 ◎ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 ◎ 自部門の教育訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。 ◎ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加する。

5.環境経営目標（2022年度～2026年度）

環境目標	サイト区分	単位	基準年	目標				
			2020年度	2022年度 1.0%減	2023年度 1.5%減	2024年度 2.0%減	2025年度 2.5%減	2026年度 3.0%減
			2020年5月～2021年4月	2022年5月～2023年4月	2023年5月～2024年4月	2024年5月～2025年4月	2025年5月～2026年4月	2026年5月～2027年4月
1. 二酸化炭素排出量の削減	本社等	kg-CO2	102,103	101,082	100,571	100,061	99,550	99,040
① 電気使用量の削減	現場	kWh	26,272	26,009	25,878	25,747	25,615	25,484
	指定管理	kWh	11,677	11,560	11,502	11,443	11,385	11,327
	活動内容を目標と致します。							
② ガソリン使用量の削減	本社等	L	5,819	5,760	5,731	5,702	5,673	5,644
	現場	L	6,959	6,889	6,854	6,819	6,785	6,750
	指定管理	L	6,422	6,358	6,326	6,294	6,262	6,229
③ 軽油使用量の削減	現場	L	15,074	14,923	14,848	14,773	14,697	14,622
2. 廃棄物排出量の削減								
① 一般廃棄物(可燃ゴミ)排出量の削減	本社等	kg	168			165	164	163
	現場	kg	0	活動内容を目標と致します。				
	指定管理	kg	98	97	96	96	95	95
② 産業廃棄物リサイクル率の維持	現場	%	90%	92%	93%	94%	95%	96%
3. 水使用量の削減								
3. 水使用量の削減	本社等	m ³	144	143	142	141	140	140
	現場	m ³	0	活動内容を目標と致します。				
	指定管理	m ³		活動内容を目標と致します。				
4. 地域環境貢献活動の推進(河川水路等の美化活動)	本社等	件数	1	4	4	4	4	4
5. 環境(騒音・振動)に配慮した機械の使用及び工法への取組	現場	苦情件数	0	0	0	0	0	0
	現場	情報技術の活用例	3	4	4	4	4	4

★備考★

全社
本社等現場
指定管理

1. 基準年は2020年度としますが、当該年度の現場数が著しく少なかったため、電気(現場)と軽油使用量(現場)については2019年度の実績値を基準値とします。
2. 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.480kg-CO₂/kWh(九州電力 調整後排出係数2020年度)を使用しています。
3. サイト区分・・・

全社 : 本社・倉庫、現場、指定管理部	現場 : 現場事務所を含む建設現場
本社等 : 本社・倉庫	指定管理 : 指定管理部 唐津市事務所・相知事務所

4. 指定管理部は庁舎内の一角に所在し、電気使用量・水道使用量の数値測定が困難なため、目標値は設定しません。

環境経営計画（2022年度）

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 電気使用量の削減	本社等・現場	1 昼休みなどの照明が不必要な時は消灯する。	当該部門長	事務、 工事グループ1・2				
		2 パソコンは夜間・休日は主電源を切る。						
		3 空調の最適化(冷房26℃、暖房21℃程度)を徹底する。						
	指定管理	1 昼休みなどの照明が不必要な時は消灯する。	当該部門長	指定管理部				
		2 パソコンは夜間・休日は主電源を切る。						
	2 ガソリン使用量の削減	全社	1 省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	当該部門長	全ての部門			
2 借上げ車両をハイブリッド車・低公害車へ随時切替る。								
3 軽油使用量の削減	現場	1 建設機械等の省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	当該部門長	工事グループ 1・2				

2. 廃棄物排出量

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 一般廃棄物排出量(可燃ゴミ)の削減	全社	1 電子決済対象を順次拡大する。	当該部門長	全ての部門				
		2 両面コピー、裏紙コピーを推奨する。						
		3 混合廃棄物から分別回収へ転換する。						
2 産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	1 混合廃棄物から分別回収へ転換する。	当該部門長	工事グループ 1・2				
		2 マニフェストに基づき、適正に処理する。						

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 水使用量の削減	全社	1 手洗い時、洗い物、洗車等での節水を励行する。	当該部門長	全ての部門				

4. 地域環境貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 地域環境貢献活動の推進	全社	1 地域環境貢献活動への積極的な参加	当該部門長	全ての部門				

5. 施工現場における環境に配慮した機械の使用及び工法への取組

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 建設機械の騒音振動の削減	現場	1 低騒音・低振動型建設機械等を使用する。	当該部門長	工事グループ1・2				
2 情報化機器活用による作業効率化	現場	2 リモート、ドローン、電子納品機器を活用する。	当該部門長	工事グループ1・2				

★備考★

1. サイト区分…

全社 : 本社・倉庫、現場、指定管理部
本社等 : 本社・倉庫

7

現場 : 現場事務所を含む建設現場

指定管理 : 指定管理部 唐津市事務所・相知事務所

と定義します。

6. 教育訓練等の実施計画

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール												
					5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1 環境教育の実施	全社	1 EA21の内容(環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、各自役割分担と責任権限など)、環境問題の現状について教育を全社員に行う。	当該各部門長	全ての部門			○							○			
2 緊急事態の訓練	本社等	1 環境に影響を及ぼす可能性がある緊急事態(火災・地震)への対応訓練	従業員	事務													○
	現場	1 環境に影響を及ぼす可能性がある緊急事態(火災・地震)への対応訓練 ※訓練の内容は変更の可能性があります。	従業員	工事グループ1・2					○								
		2 安全パトロールの実施	当該各部門長	工事グループ1・2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

今年度より毎月、安全課長、安全衛生委員との現場パトロール実施

7. 環境経営目標の実績

活動期間2022年5月～2023年4月

	単位	基準年 2020年度 (2020.5～2021.4)	2022年5月～2023年4月				
			目標	実績	達成率(%)	判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	102,103	101,082	110,362	91	○	
(1) 電気使用量削減							
本社等	kWh	26,272	26,009	23,623	109	○	
現場	kWh	11,677	11,560	16,997			現場事務所数が増加し削減目標を達成できなかった。
(2) ガソリン使用量削減							
本社等	ℓ	5,819	5,760	5,711	101	○	
現場	ℓ	6,959	6,889	7,510	91	○	
指定管理部	ℓ	6,422	6,358	6,342	100	○	
(3) 軽油使用量削減							
現場	ℓ	15,074	14,923	17,482	83	○	道路工事で使用量が増加しているが、削減目標を概ね達成できている
2. 廃棄物排出量の削減							
一般廃棄物排出量の削減							
本社等	kg	168	167	169	99	○	目標は達成できているが、お菓子ゴミが多い
指定管理部	kg	98	97	89	108	○	
産業廃棄物リサイクル率	%	90.0	92.0	96.0	104	○	
3. 水使用量の削減	m ³	144.0	143	125	112	○	
4. 地域環境貢献活動の推進							
全社	件数	1	4	1	25	×	コロナ禍の為に中止により、目標が達成できていない
5. 環境に配慮した機械の使用及び工法への取組	騒音振動苦情件数	0	0	0	100	○	苦情なし
	情報技術活用件数	3	4	0	—		

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は九州電力調整後排出係数2020年度の二酸化炭素排出係数(0.480kg - CO₂/kWh)を使用しています。

※表中の記号は達成率により、○：≥80%、△：70%～79%、×：<69% ★達成率(%) = ((目標値-実績値)/目標値+1) × 100

※2021年度より判定を見直しました。

※基準年は2020年度としますが、当該年度の現場数が著しく少なかったため、電気（現場）と軽油使用量（現場）については2019年度の実績値とします。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減

環境経営項目	実施状況	1年間の評価				次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
電気使用量削減	昼休み等の照明が不必要な時は消灯する。	○	○	○	○	引き続き実施する。 引き続き実施する。 全社員に徹底する。 引き続き実施する。
	パソコンは夜間・休日は主電源を切る。	○	○	○	○	
	空調の最適化（冷房26℃、暖房21℃程度）を徹底する。	○	○	○	○	
ガソリン・軽油使用量の削減	省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	○	○	○	○	引き続き実施する。 引き続き実施する。
	借上げ車両をハイブリッド車・低公害車へ随時切替る。	○	○	○	○	
軽油使用量削減	建設機械等の省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	△	△	△	○	引き続き実施する。 概ね実施できたがトラックの供用日が多かった。

2.廃棄物排出量削減

環境経営項目	実施状況	1年間の評価				次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
一般廃棄物	電子決済対象を順次拡大する。	○	○	○	○	引き続き実施する。 引き続き実施する。 引き続き実施する。 全社員に徹底する。
	両面紙 [※] 、裏紙紙 [※] を推奨する。	○	○	○	○	
	混合廃棄物から分別回収へ転換する。	△	○	△	△	
産業廃棄物	混合廃棄物から分別回収へ転換する。	○	○	○	○	引き続き実施する。 全社員に徹底する。 引き続き実施する。 全社員に徹底する。
	マニフェストに基づき、適正に処理する。	○	○	○	○	

3.水使用量削減

環境経営項目	実施状況	1年間の評価				次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
水使用量の削減	手洗い時、洗い物、洗車等での節水を励行する。	○	○	○	○	引き続き実施する。 ポスター掲示等で、節水の呼びかけをしたり、着け置き洗いをした。

4.地域環境貢献活動の推進

環境経営項目	実施状況	1年間の評価				次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
地域環境貢献活動の推進	地域環境貢献活動への積極的な参加	○	△	△	△	引き続き実施する。 コロナ禍で中止することがあった。

5.施工現場における環境に配慮した機械の使用及び工法への取組

環境経営項目	実施状況	1年間の評価				次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
建設機械の騒音振動の削減	低騒音・低振動型建設機械等を使用する。	○	○	○	○	引き続き実施する。 実施できた。苦情なし。

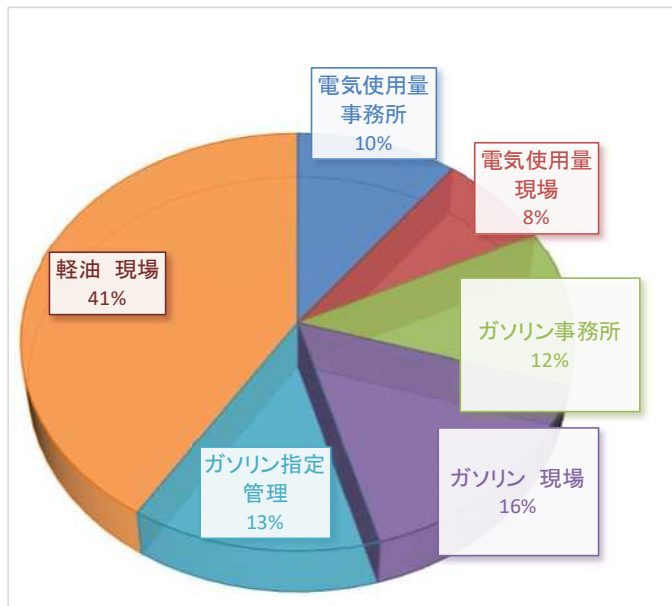
○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

9. 環境経営活動の内容と実績

①2022年度 二酸化炭素排出量の占める割合

	I社内消費量	CO2排出量kg	割合
電気使用量事務所	23,623 kWh	11339	10.3%
電気使用量現場	16,997 kWh	8158.6	7.4%
ガソリン事務所	5,711 L	13250.4	12.0%
ガソリン現場	7,510 L	17422	15.8%
ガソリン指定管理	6,342 L	14713	13.3%
灯油 現場	40 L	99.6	0.1%
軽油 事務所	93 L	239.9	0.2%
軽油 現場	17,482 L	45103.6	40.9%
LPG 本社	12 kg	35.5	0.0%
LPG 現場	0 kg	0	0.0%
全体		110361.6	100%

#



②各箇所にシールを貼ってエネルギー節約を促しています😊



公共工事のために使用する軽油がCO2排出量の割合を大きく占めています。環境に配慮した建設車両の使用やアイリングストップを心掛けています。

スイッチ箇所にはシールを貼っています

昼休みは消灯！！
不要な電気はこまめに消しています。

冷房時の設定温度は26℃
暖房時の設定温度は21℃

③ゴミの分別を徹底するよう日々努力しています😊😊😊

ペットボトル、アルミ、スチール缶、びん類、段ボール、コピー用紙、雑誌やティッシュの箱などの紙は徹底的に分別しています。
ゴミの殆どがビニール片やお弁当殻のプラスチック類です。



倉庫内分別BOX



1階事務所分別BOX

④ガソリン使用量削減のため、社員が所有する自家用車の燃費に応じ手当を支給しています☺

★車両★

車種	2,000	~1,800	~1,600	~1,500	1000~	1,000CC以下	単車
排気量	CC以上	CC	CC	CC	1,400CC	ハイブリット	
借上げ料	3,000円	4,000円	6,000円	8,000円	11,000円	14,000円	5,000円

★ハイブリット車や、低燃費車を所有する社員が増えました。★

⑤令和4年度に
【チームプラスマさが】登録申請しました



事務所倉庫にて飲料後ペットボトルを集めて、市の回収業者さんに取りに来てもらってます。ペットボトルフタはスーパーの回収ボックスへ持参してリサイクルに努めています。

★EcoAction活動として★

自社では、EcoActionマーク入りEcoバックを自作作成し、従業員全員へ配布しています。

⑥事務所・現場事務所には再度新しいポスターを掲示し、節電を呼び掛けています。



⑦弊社ではロスナイ換気扇を取付けています。
 ロスナイ換気扇を取付けて、コロナ対策と省エネに努めています。

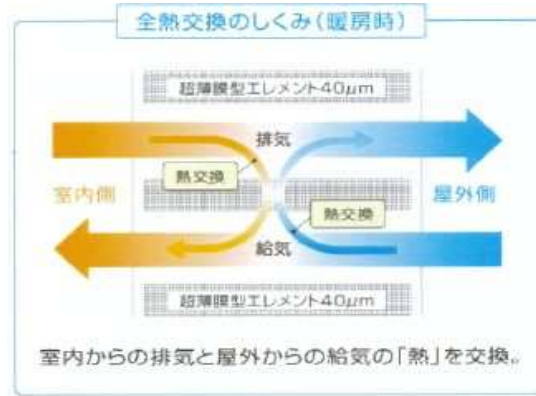
全熱交換器（ロスナイ）にできること

①省エネ熱交換換気

- ・排気の熱を給気に伝え、空調負荷を低減。
- ・夏期や冬期の外気を冷暖房している室温に近づけて給気するので、快適性の向上や
冷暖房費の節約につながります。
- ・もちろん同時に排気します。（同時給排）

②空清浄換気

- ・アレルギー疾患の原因のひとつと言われる室内空気の**チリ・ホコリ・カビ・ダニ**などを排出
 給気に含まれる**チリ・ホコリ・花粉**なども
 フィルターでキャッチし、室内の空気清浄をしながら換気します。



★企業として（フロン排出抑制法）を遵守するために★



《第一種特定製品》とは？

第一種特定製品とは、冷媒としてフロン類が充填されている業務用エアコン、冷凍・冷蔵機器全般の事です。

圧縮機定格出力7.5kw未満の機器を保有している場合は、3か月に1回以上簡易点検

弊社には6台の定格7.5kw未満の業務用エアコンがあり

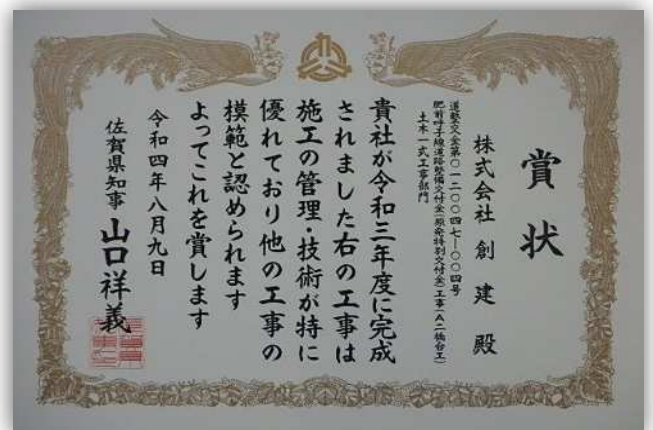
3か月に1回の簡易点検を行っています。

※竣工写真



(工事表彰) 県知事賞

道整交金第0120047-004号 肥前呼子線道路整備交付金
 (原発特別交付金)工事(A2橋台工)



10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	一般廃棄物及び産業廃棄物（水銀使用製品を含む）の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化	○
オフロード法	特定特殊自動車の使用制限	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	○
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検、引渡義務	○

2023年6月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、法令違反はなく、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 活動を始めて6年が経過したが、現場、指定管理部も含め会社全体で、エコアクションに取り組むことができている。
- 工事量の増加など止むを得ない事情はあるが、電気使用量や軽油使用量の削減が不十分なので、引き続き削減に努めていく。

代表取締役社長

村上 伸



株式会社 **創建**

本社 佐賀県唐津市和多田先石6番38号
TEL 0955-74-5118 FAX 0955-74-5113